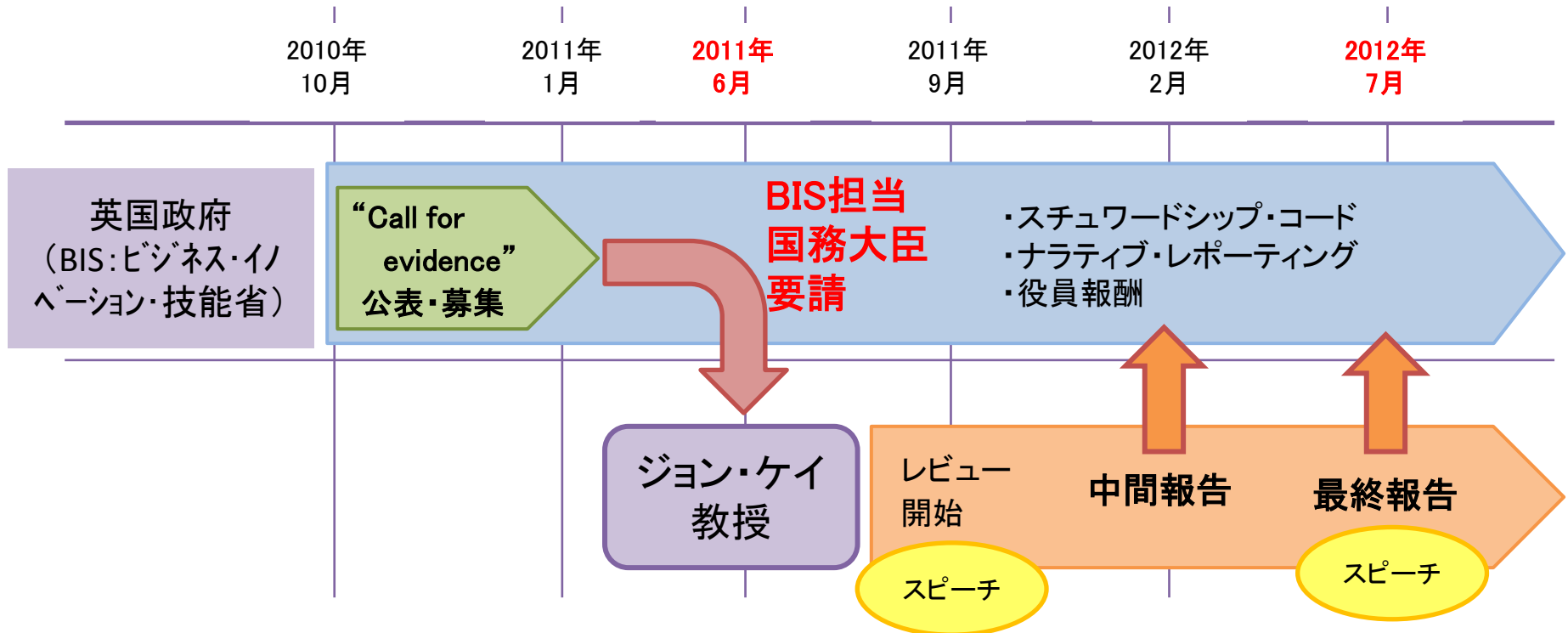


- 英国政府(BIS)の担当国務大臣より、2011年6月にジョン・ケイ教授に英国の株式市場の投資と上場企業の長期的な業績・ガバナンスに与える影響についてレビューをとりまとめるよう要請。
- 国内外からエビデンスを集めながら、2012年7月に最終報告を公表。このケイ・レビューの政策提言は、英国政府の政策決定にも影響。

【ケイ・レビューの最終報告プロセス】



ケイ・レビューの提言内容

- 英国企業の長期的なパフォーマンスを向上させるための英国株式市場の課題として、短期志向の横行や投資家全体(Investment Chain)における信頼の喪失、インセンティブ構造の歪みを指摘。
- 英国株式市場の再構築に向けたファースト・ステップとして、具体的な17の施策を提言。

【主な提言内容】

- ✓「スチュワードシップ」概念の拡張
- ✓取締役、運用会社、アセットオーナーにスチュワードシップと長期的な視点に立った意思決定を促進する「グッドプラクティス・ステートメント」の策定
- ✓企業と長期投資家のエンゲージメントの推奨
- ✓「投資家フォーラム」の創設
- ✓四半期開示の廃止
- ✓高品質かつ簡潔な叙述的報告の推奨
- ✓長期的視点に立った企業のパフォーマンスを持続的に向上させるインセンティブの構築(取締役・運用マネージャーの報酬体系のあり方等)

等